

2026年3月期決算説明会



SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326 2026年5月14日

1. 会社概要	P. 3
2. 連結業績と株主還元 (2026年3月期の実績)	P. 8
3. 来期の業績予想、配当予想 (2027年3月期の予想)	P. 23
4. 中期経営計画の数値目標 (2028年3月期の目標)	P. 25

(免責事項)

- 本資料に掲載されている事項は、SBIインシュアランスグループ株式会社（以下「当社」）による当社グループの業績、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、日本国内外を問わず、いかなる投資勧誘またはそれに類する行為を目的としたものではありません。また、当社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分について保証するものではありません。なお、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

(本資料中の表示)

- 資料内の社名等の表示に、次の略称を使用している箇所があります。

SBI損害保険株式会社・・・SBI損保

SBI生命保険株式会社・・・SBI生命

SBI少短保険ホールディングス株式会社・・・SBIH

SBIいきいき少額短期保険株式会社・・・SBIいきいき少短

SBI日本少額短期保険株式会社・・・SBI日本少短

SBIリスタ少額短期保険株式会社・・・SBIリスタ少短

SBIプリズム少額短期保険株式会社・・・SBIプリズム少短

SBI常口セーフティ少額短期保険株式会社・・・SBI常口セーフティ少短

SBIペット少額短期保険株式会社・・・SBIペット少短

会 社 概 要



当社は、SBIグループの中で保険事業を統括している保険持株会社。
 当社の経営管理の下、連結子会社9社が損害保険事業、生命保険事業、
 少額短期保険事業の3事業を推進



※当社グループ各社は、親会社であるSBIホールディングス株式会社が保有する「SBI (ロゴマーク含む)」等の商標について所定の使用許諾を得ています。
 詳細については、有価証券報告書に記載しています。

オンラインでお客さまとダイレクトにご契約する保険を多く取り扱う
新しいタイプの保険グループ。合理的でお手ごろな金額の保険料と、
24時間つながる利便性の高さが大きな特徴

SBI 損保



SBI 生命



SBI いきいき少短



SBI ペット少短



エッジの効いたユニークな商品ラインナップ。
当社グループの保険商品の多くは、オンライン販売に適した低価格な商品。
オンラインで比較されることで価格面の優位性が際立つ

＜商品ライン＞

事業	1. 損害保険事業（SBI損保）	2. 生命保険事業（SBI生命）
取扱商品	ダイレクト型自動車保険 実損填補型がん保険 火災保険 その他の損害保険	団体信用生命保険 定期保険 就業不能保険 終身医療保険
事業	3. 少額短期保険事業（グループ少短6社）	
取扱商品	家財保険 地震保険 車両保険 生命保険 医療共済 ペット保険 法人顧客向けオーダメイド型保険（ブライダル保険等） その他の少額短期保険	



事業規模を飛躍的に拡大。
当社グループの保有契約件数合計^{※1}は、
317万件に増加。300万件突破後も堅調

(単位：万件)

保有契約件数の推移



※1 当社はSBIグループの保険事業を統括する保険持株会社として2017年3月に営業を開始いたしましたが、当社の各子会社は当社の営業開始前から営業活動を行っているため、上記グラフでは、各子会社のSBIグループ加入後（当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社となって以後）の保有契約件数を表示しています。
 ※2 損害保険事業の保有件数には2022年6月よりSBI損保の団体がん保険の被保険者数を、生命保険事業の保有契約件数には、SBI生命の団体信用生命保険の被保険者数を含めています。



連結業績と株主還元

(2026年3月期の実績)

1. 過去最高の業績

増収増益が続く。経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の3項目がいずれも過去最高金額

2. 株主還元の実

配当と株主優待による株主還元。増益に連動した増配、暗号資産の「XRP」を受け取れる株主優待制度の新設

3. IFRS（国際会計基準）に関する参考開示

2030年3月期第1四半期よりIFRSに基づく決算開示を実施する方針。「IFRSに関する参考開示」を実施

**経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の
3項目がいずれも過去最高金額を更新**

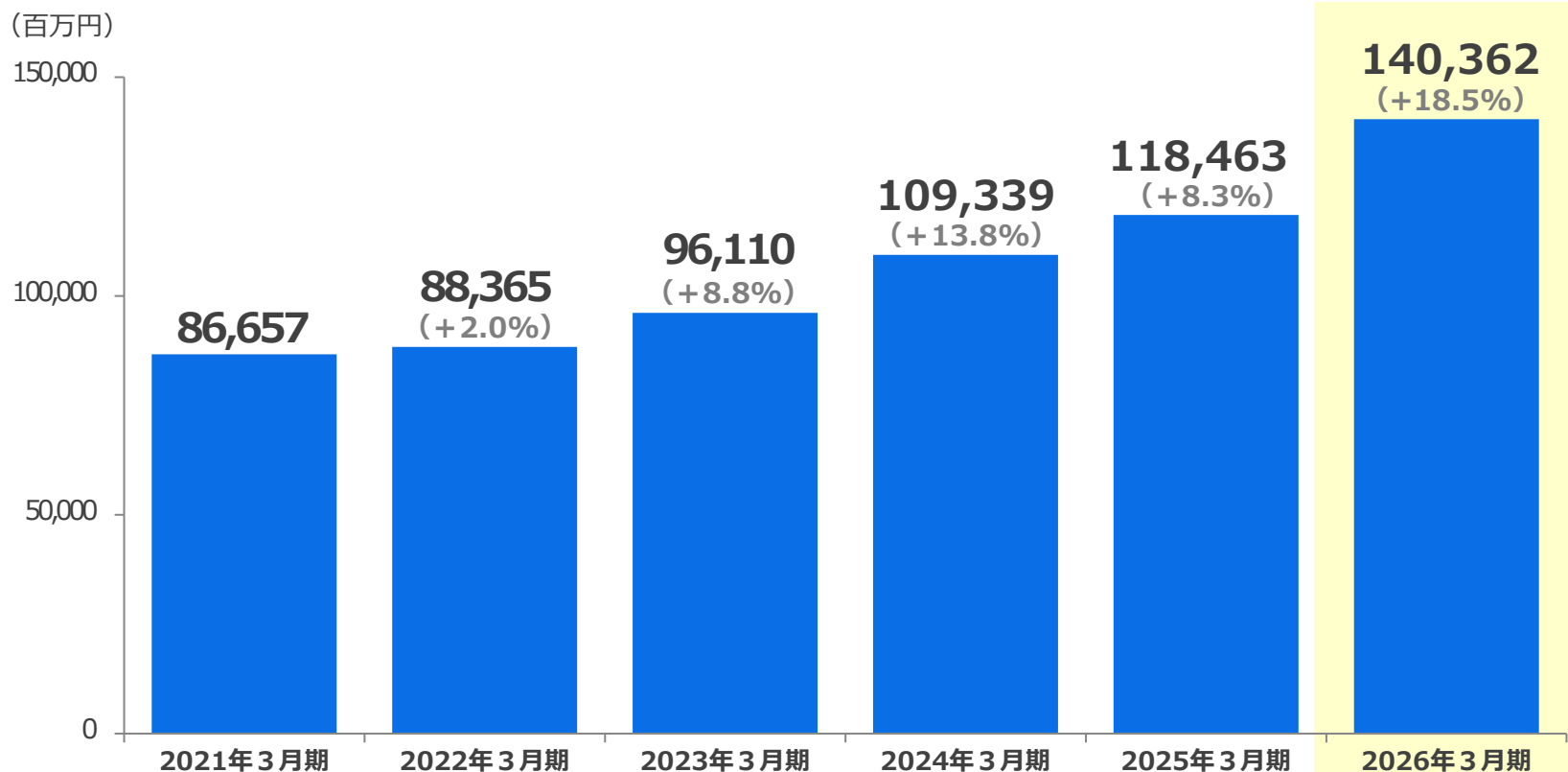
2026年3月期 連結業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)	2026年3月期 (2025年4月～2026年3月)	対前期 増減率
経常収益	118,463	140,362	18.5%
経常利益	9,474	13,164	39.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,988	2,880	44.8%

経常収益は 140,362百万円。保有契約件数の堅調な増加などにより、前期比 18.5%の増加

『経常収益』の推移

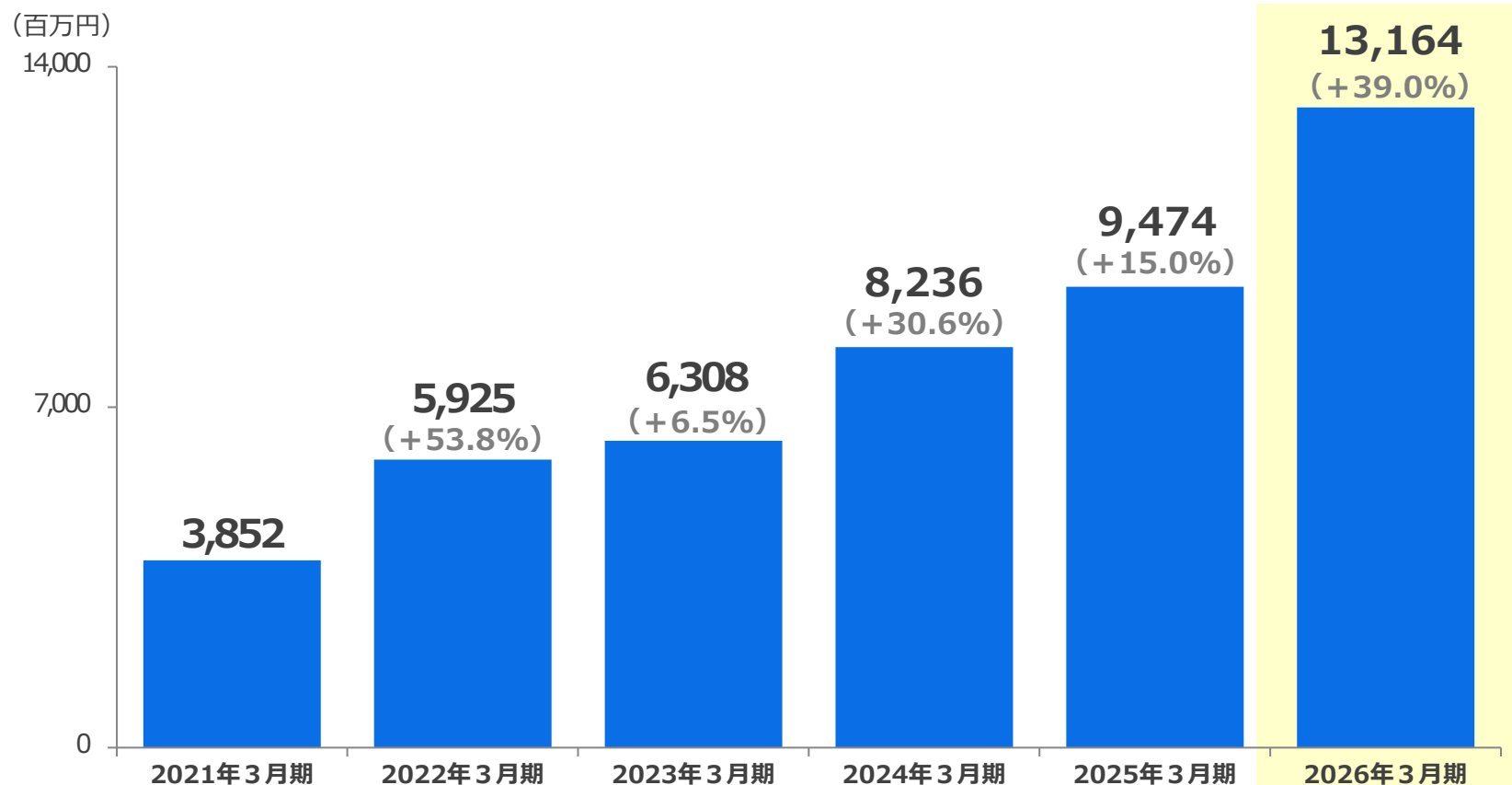


※生命保険事業における変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。

無断転載禁止 特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益および経常費用に含めて表示することとされています。

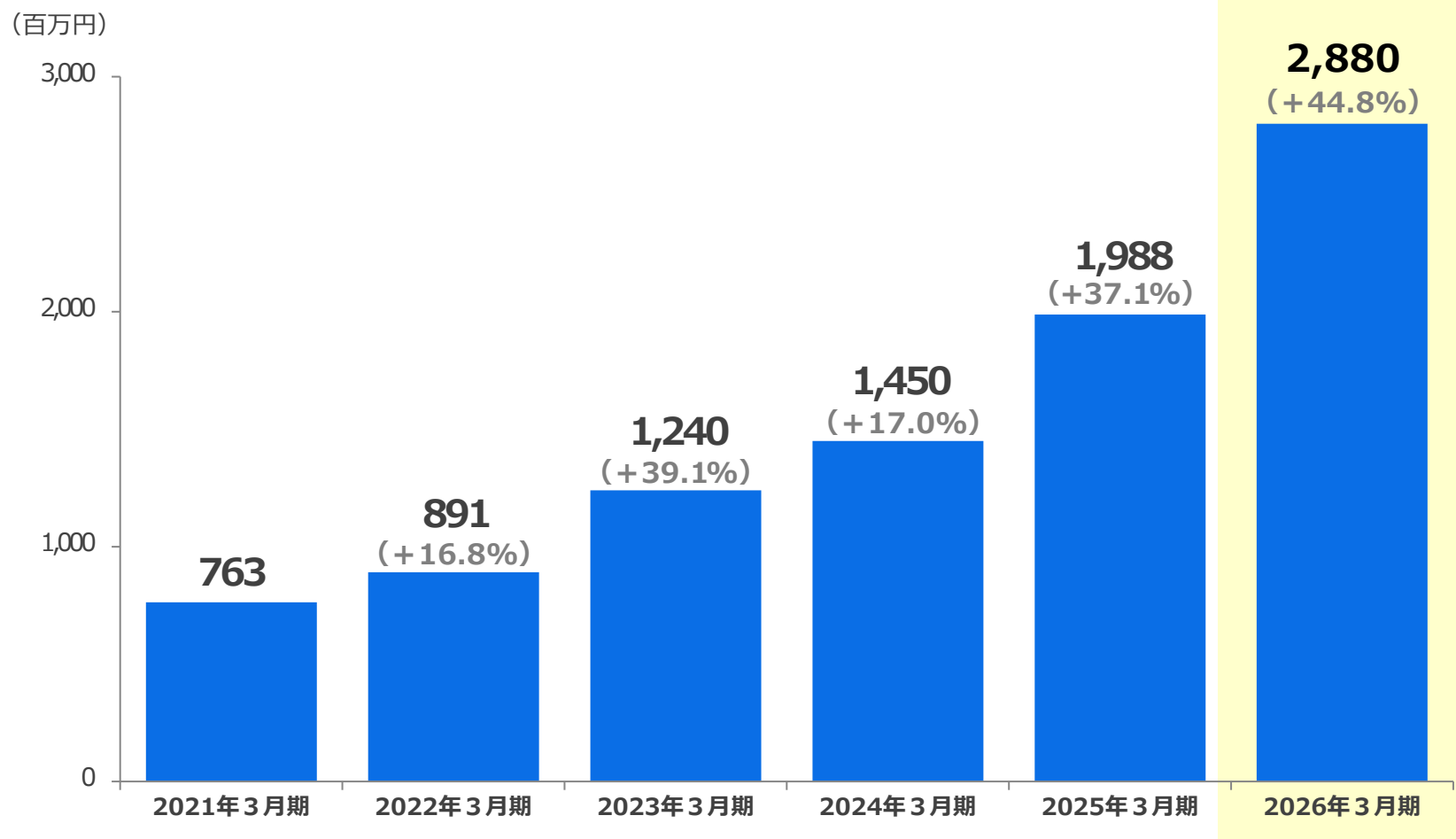
経常利益は 13,164百万円。増収効果に加え、継続的な業務効率化による収益性の向上もあり、前期比 39.0%の増加

『経常利益』の推移



親会社株主に帰属する当期純利益は、2,880百万円。
前期比 44.8%の大幅な増加

『親会社株主に帰属する当期純利益』の推移



経 常 収 益

(報 告 セ グ メ ン ト 別)

(単位：百万円)

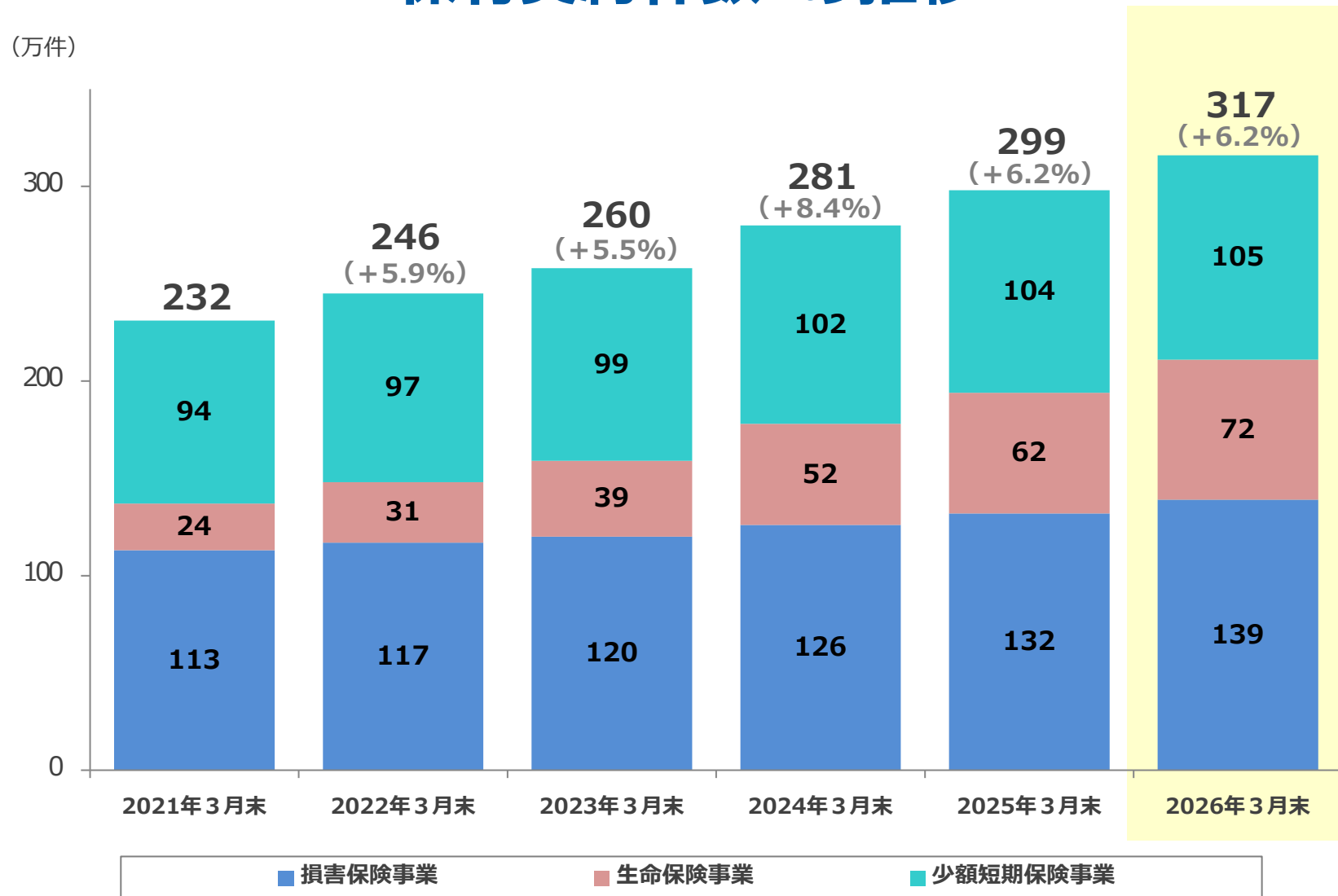
	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)		2026年3月期 (2025年4月～2026年3月)		対 前 期 増 減 率
	金 額	構成比	金 額	構成比	
損 害 保 険 事 業	40,436	34.1%	46,819	33.3%	15.8%
生 命 保 険 事 業	44,383	37.4%	57,705	41.1%	30.0%
少 額 短 期 保 険 事 業	33,849	28.5%	36,004	25.6%	6.4%

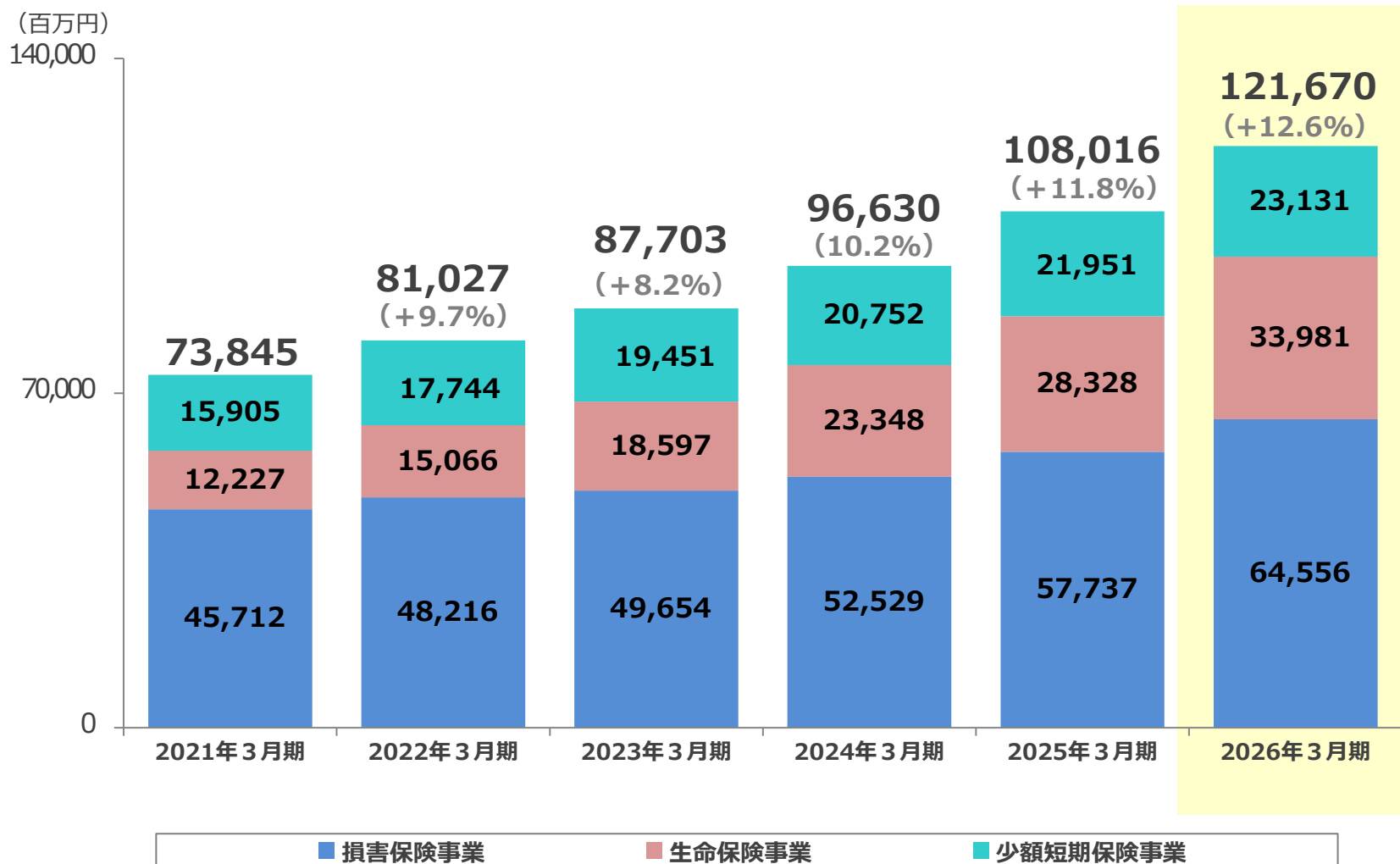
セグメント利益

(親会社株主に帰属する当期純利益ベース)

(単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)		2026年3月期 (2025年4月～2026年3月)		対前期 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
損害保険事業	1,552	59.9%	2,015	55.3%	29.8%
生命保険事業	807	31.2%	975	26.7%	20.8%
少額短期保険事業	230	8.9%	656	18.0%	184.3%

保有契約件数[※]の推移

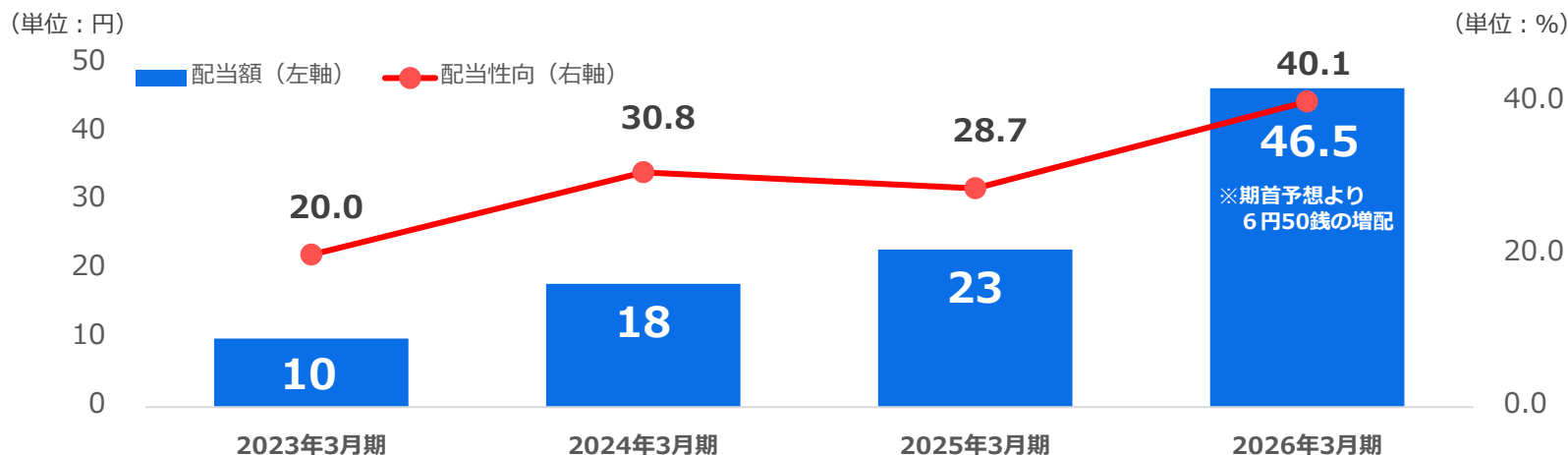
収入保険料^{*}の推移

当期は、配当予想の増額修正を2回実施。46円50銭を配当予定。
（前期実績 23円00銭の2倍超、連結配当性向 40.1%）

2026年3月期 期末配当予想（増配）

	年間配当金	連結配当性向
期首発表予想（2025年5月8日）	40 円 00 銭	39.7%
前回発表予想（2026年1月29日）	45 円 00 銭	39.9%
今回修正予想（2026年4月27日）	46 円 50 銭	40.1%
前期実績	23 円 00 銭	28.7%

1株当たり年間配当金と配当性向



暗号資産の「XRP」を受け取ることができる株主優待制度を新設。
（25年10月29日発表） 個人株主の皆さまとの長期安定的な関係構築を図る。

「XRP」（エックスアールピー）とは

- ◆ 当社の親会社であるSBIホールディングス(株)が出資しているRipple Labs Inc.（本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ）が関与する、主に次世代金融サービス領域において活用される暗号資産が「XRP」です。
- ◆ Ripple社とSBIホールディングス(株)は協力関係にあり、2016年には両社の合弁会社「SBI Ripple Asia」を設立し、日本およびアジア地域におけるブロックチェーン基盤のクロスボーダー決済や次世代金融サービスの発展に取り組んでいます。



所定の条件の下、期末の当社株主さまへ、以下のとおり、 保有株式数と継続保有期間に応じて暗号資産の「XRP」を進呈

（株主優待の概要）

保有株式数	継続保有期間	進呈するXRP
100株（1単元）以上 500株（5単元）未満	-	2,500円相当のXRP
500株（5単元）以上	2年未満	10,000円相当のXRP
	2年超	12,000円相当のXRP

※詳細につきましては、当社ウェブサイト（<https://www.sbiig.co.jp>）に掲載しております
「株主優待制度の導入に関するお知らせ」および「株主優待制度の導入に関する補足説明資料」
（共に2025年10月29日公表）をご確認ください。

※2026年3月31日時点の株主名簿に記載、または、記録された100株（1単元）以上を保有する
株主の皆様のご登録住所に、7月中旬までに「株主優待のご案内」を郵送させていただく予定です。
SBI VCトレード株式会社の取引口座をお持ちでない株主様は、案内に従ってSBI VCトレード株式
会社にて口座の開設をお願いいたします。



SBIホールディングス(株)の税引前利益（IFRS）に含まれる当社グループの税引前利益 (単位：百万円)

	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	増減率 (%)
損害保険事業	2,162	3,573	65.3
生命保険事業	3,434	7,084	106.3
少額短期保険事業	971	2,055	111.6
調整額	△610	△747	-
税引前利益（IFRS）	5,957 (1株あたり 240円01銭)	11,965 (1株あたり 482円08銭)	100.9

◆ SBIHが開示した保険事業の税引前利益から、当社グループに属さない持分法適用会社に係る投資利益を控除した金額です。

◆ IFRSでは有価証券の時価変動が損益に反映されることから、市場環境により損益が変動します。当期においては、主に生命保険事業における資産運用の特性を背景とした有価証券の公正価値評価の影響（約30億円）が税引前利益（IFRS）に含まれております。

当社グループの税引前利益（日本基準） (単位：百万円)

	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	増減率 (%)
損害保険事業	1,288	2,386	85.2
生命保険事業	935	1,447	54.6
少額短期保険事業	436	1,238	183.6
調整額	△596	△763	-
税引前利益（日本基準）	2,064 (1株あたり 83円18銭)	4,309 (1株あたり 173円63銭)	108.7

本参考開示についてのご説明

当社グループは、日本において一般に公正妥当と認められた会計基準（以下「日本基準」）による決算開示を行っておりますが、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社（以下「SBIH」）は、国際会計基準（以下「IFRS」）に基づいた連結決算開示を行っております。

保険事業においては、保険契約負債の計上基準や有価証券の分類・測定などの会計処理の違いにより、双方の会計基準間の差異が大きいことから、当社グループの業績をご理解いただくための補足情報をご提供することを目的として、SBIHの連結業績（IFRS）に含まれる当社グループの税引前利益をご参考情報として掲載しております。

このIFRSの税引前利益につきましては、SBIHが定めたアカウンティングポリシーに基づいて作成されております。

なお、当社グループではIFRSの任意適用に向けた対応を当期より開始しており、30年3月期 第1四半期よりIFRSに基づく連結決算開示を開始する予定です。



来期の業績予想、配当予想

(2027年3月期の予想)

2027年3月期の連結業績・配当は各項目ともに過去最高金額と予想

＜連結業績予想、配当予想＞

(単位：百万円)

指 標	2026年3月期 (当 期)	2027年3月期 (次 期)		
	実 績	予 想	前期比増減	
経 常 収 益	140,362	150,000	9,638	+6.9%
経 常 利 益	13,164	16,000	2,836	+21.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,880	3,620	740	+25.7%
1株当たり 配当額	46円50銭	59円00銭	12円50銭	+26.9%
配 当 性 向	40.1%	40.5%	-	-

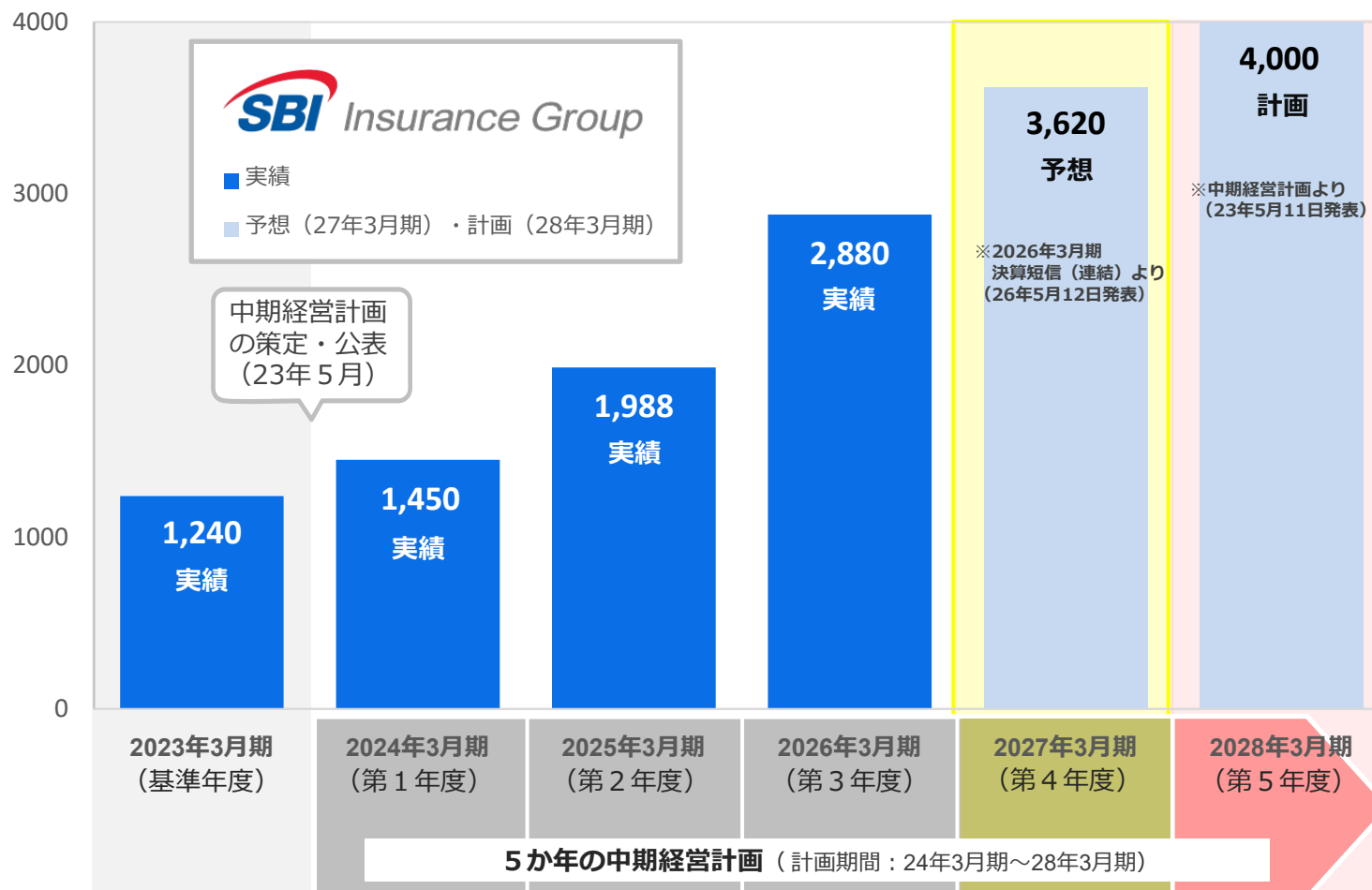


中期経営計画の数値目標 (2028年3月期の目標)

中期経営計画 最終年度（28年3月期）の数値目標である 親会社株主に帰属する当期純利益 40億円の達成に向けて順調に推移

親会社株主に帰属する当期純利益（連結ベース、実績・予想・計画）

（単位：百万円）



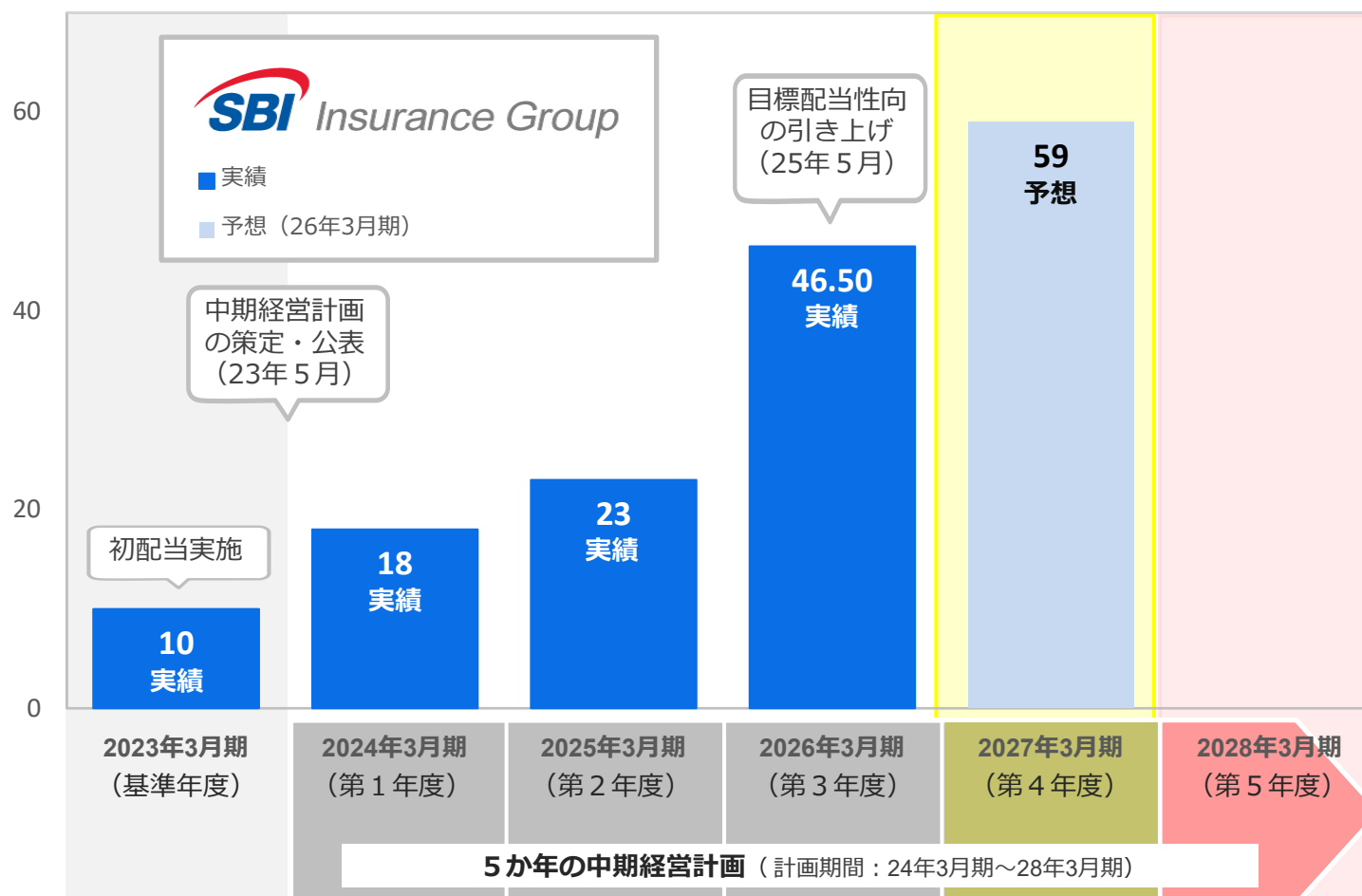
目標とする利益成長 × 目標とする配当性向 で増配を目指す。

（26年3月期以降の目標連結配当性向：40%程度

25年5月に中計の目標であった30%前後から現在の40%程度へ引き上げ済）

1株当たり配当金（実績・予想）

（単位：円）



ご清聴 ありがとうございます。



最新のテクノロジーで保険をもっと便利でリーズナブルに

<https://www.sbiig.co.jp>

 **SBI** Insurance Group

SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326